



栗田工業株式会社

2023年3月期
決算説明

(証券コード：6370)

2023年5月12日

1 2023年3月期 実績	p 1 -10
2 2024年3月期 業績予想	p11-18

1 | 2023年3月期 実績

業績概況



(単位：億円)		2022/3期	2023/3期	前期比		見通し (2/2発表)
				前期比	前期比	
受	注	高	3,152	3,743	+ 18.7%	3,750
売	上	高	2,882	3,446	+ 19.6%	3,500
事	業	利	329	386	+ 17.1%	390
そ	の	他	28	△ 95	—	△ 10
の	の	収				
支						
営	業	利	357	291	△ 18.7%	380
益						
税	引	前	301	302	+ 0.2%	390
利						
益						
親	会	社	185	201	+ 9.0%	276
の	所	有				
者	に	帰				
属	す	る				
当	期	利				
益						
基	本	的	164.38	179.14	+ 9.0%	245.56
1	株	当				
た	り	当				
期	利	益				
(円)				
親	会	社	7.0%	7.1%	+ 0.1pp	—
所	有	者				
帰	属	持				
分						
当	期	利				
益	率	(
R	O	E				
)						
為	替	レ	112.4	135.5		136.0
レ						
イ						
ト						
	USD	(
	円)				
	EUR	(130.6	141.0		140.0
	円)				
	CNY	(17.5	19.8		20.0
	円)				

- 営業利益は、前期に固定資産売却益を計上したこと、当期にクリタ・アメリカ社の水処理薬品事業に関するのれんの減損損失(△76億円)を計上したことから、減益。
- ペンタゴン・テクノロジーズ社の株式追加取得に伴う金融収支の影響（今期：デリバティブ取引差益+11億円、前期：非支配株主と締結した株式の先渡契約に係る負債の事後測定による費用△55億円）により、税引前利益および親会社の所有者に帰属する当期利益は増加。

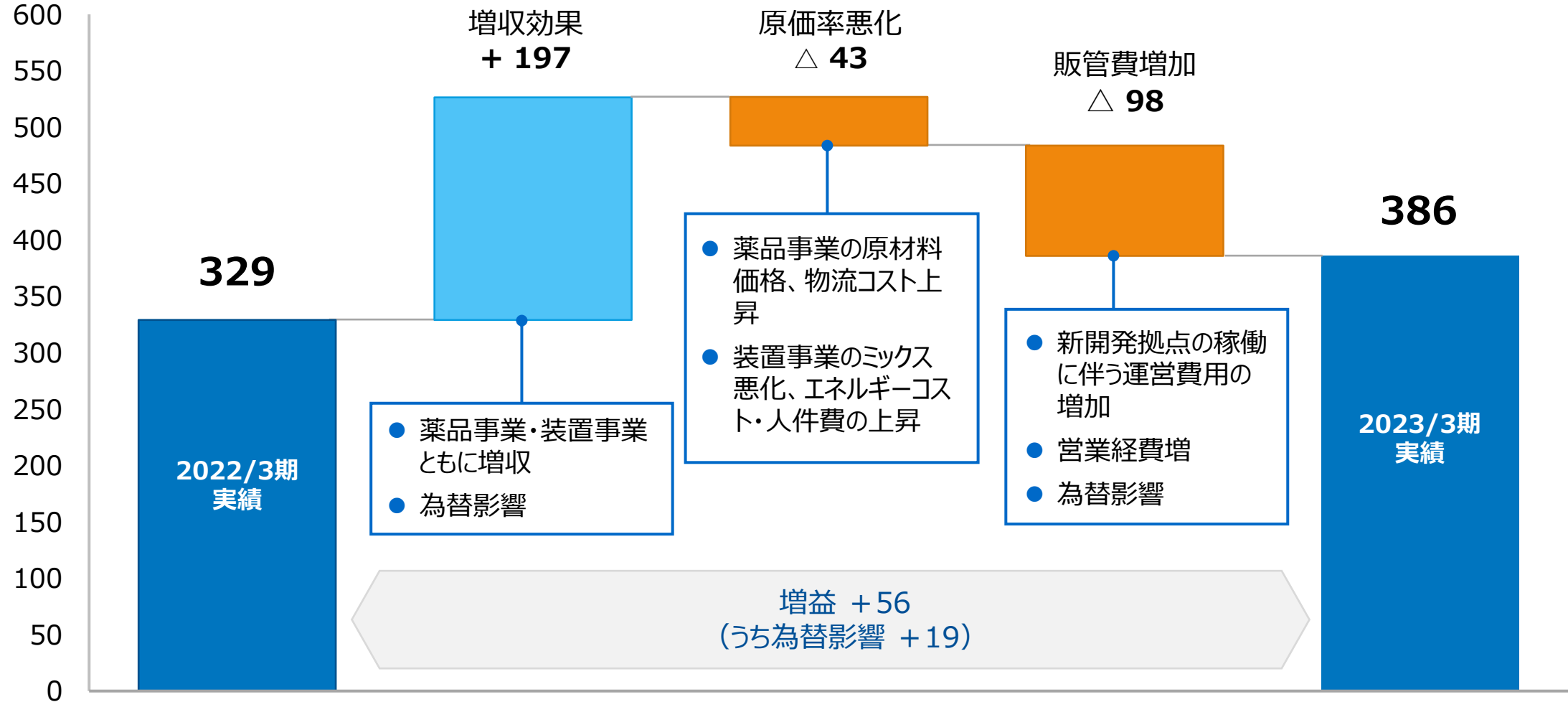
セグメント別の実績

(単位：億円)		2022/3期	2023/3期	前期比	見通し (2/2発表)
全社	受注高	3,152	3,743	+ 590	3,750
	売上高	2,882	3,446	+ 564	3,500
	事業利益	329	386	+ 56	390
	事業利益率	11.4%	11.2%	△ 0.2pp	11.1%
	営業利益	357	291	△ 67	380
水処理薬品 事業	受注高	1,184	1,369	+ 185	1,365
	売上高	1,177	1,361	+ 185	1,360
	事業利益	136	163	+ 27	157
	事業利益率	11.5%	12.0%	+ 0.4pp	11.5%
	営業利益	146	76	△ 70	157
水処理装置 事業	受注高	1,968	2,374	+ 406	2,385
	売上高	1,705	2,085	+379	2,140
	事業利益	194	224	+ 30	233
	事業利益率	11.4%	10.7%	△ 0.6pp	10.9%
	営業利益	212	215	+ 4	223

- 水処理薬品事業は、主に海外における事業の伸長により前期比で増収増益となり、見通しも上回る。
- 水処理装置事業の受注高は、海外および国内一般産業向けで増加。
- 水処理装置事業の売上高は、国内電子産業向けおよび海外で前期比で増収も、見通し比では未達。主に国内外の精密洗浄事業が想定を下回る。
- 水処理装置事業の事業利益は、増収効果が販管費の増加と原価率の悪化の影響を上回り、前期比で増益。見通し比では、主に売上影響で未達。

事業利益の増減要因（前期比）

(単位：億円)



(単位：億円)	2022/3期	2023/3期	前期比	見通し (2/2発表)
受注高	1,184	1,369	+ 185	1,365
国内	434	440	+ 6	439
海外	750	929	+ 178	926
売上高	1,177	1,361	+ 185	1,360
国内	428	435	+ 7	434
海外	748	926	+ 178	926
事業利益	136	163	+ 27	157
事業利益率	11.5%	12.0%	+ 0.4pp	11.5%
営業利益	146	76	△ 70	157

- 国内は、一部業種におけるコロナ影響や半導体不足の影響の継続により、前期比で微増にとどまる。
- 海外は、原材料価格等の上昇を受けた販売価格の見直しやCSVビジネスの展開、為替換算額増加により増収。
- 事業利益は、増収効果が販管費の増加と原価率悪化の影響を上回り増益。

海外地域別売上高

(単位：億円)	2022/3期	2023/3期	前期比	見通し (2/2発表)
アジア	268	306	+ 38	314
北南米	236	325	+ 89	321
EMEA	245	295	+ 51	292
合計	748	926	+ 178	926

増減要因（億円）

オーガニック増減	+ 67
為替影響	+ 110

水処理装置事業（国内電子産業向け）



（単位：億円）	2022/3期	2023/3期	前期比	見通し （2/2発表）
受注高	867	803	△ 63	785
装置	255	127	△ 128	127
メンテナンス	201	206	+ 5	188
超純水供給事業	315	378	+ 63	373
精密洗浄	96	93	△ 3	96
売上高	651	815	+ 164	836
装置	69	147	+ 79	152
メンテナンス	172	198	+ 25	215
超純水供給事業	315	378	+ 63	373
精密洗浄	95	92	△ 3	96

- 装置の受注高は、前期4Qの大型案件受注の反動により減少も、売上高は受注済み案件の工事進捗により増加。
- メンテナンスは、大型案件を中心に受注が堅調で受注高・売上高が増加するも、当期の売上計上に繋がる案件が想定ほど発生せず、見通しを下回る。
- 超純水供給事業は、新たに供給を開始した案件の寄与により受注高、売上高ともに増加。
- 精密洗浄は、顧客工場の稼働状況の影響を受け、前期を若干下回る。

水処理装置事業（国内一般産業向け）



（単位：億円）	2022/3期	2023/3期	前期比	見通し （2/2発表）
受注高	442	559	+ 117	631
エネルギー・インフラ	364	498	+ 134	541
土壌浄化	51	40	△ 11	64
その他	28	21	△ 7	26
売上高	515	510	△ 5	539
エネルギー・インフラ	443	442	△ 1	458
土壌浄化	44	47	+ 3	55
その他	28	21	△ 7	25

- エネルギー・インフラの受注高は、一般産業向け装置で前期に受注取消や減額修正があった影響や当期に一般産業向けメンテナンスで大型案件を受注したことから前期比で増加。一方、装置および官公需メンテナンスでの案件の延期等により見通しを下回る。
- エネルギー・インフラの売上高は、一般産業向けメンテナンスが増加するも、一般産業向け装置が減少し前期並み。
- 土壌浄化は、前期に獲得した浄化案件の反動により受注高は減少も売上高は微増。見通し比では、浄化案件の実施の延期により受注高・売上高ともに未達。

水処理装置事業（海外）

(単位：億円)	2022/3期	2023/3期	前期比	見通し (2/2発表)
受注高	660	1,012	+ 352	969
装置	325	618	+ 292	536
メンテナンス	151	176	+ 25	181
超純水供給事業	32	34	+ 2	35
精密洗浄	151	184	+ 33	217
売上高	540	760	+ 220	765
装置	215	374	+ 159	337
メンテナンス	142	168	+ 26	176
超純水供給事業	32	34	+ 2	35
精密洗浄	151	184	+ 33	217

- 東アジアでの旺盛な投資を背景に、受注高、売上高が前期比で増加し、見通し比では受注高が想定を上回る。
- 米国の精密洗浄は、新規案件獲得による売上貢献がある一方で、顧客工場の稼働状況の影響を受け、為替影響を除くと微増にとどまり、見通しを下回る。

地域別売上高

(単位：億円)	2022/3期	2023/3期	前期比	見通し (2/2発表)
アジア	312	483	+ 170	451
北南米他	227	277	+ 50	313
合計	540	760	+ 220	765

増減要因（億円）

オーガニック増減	+ 129
為替影響	+ 91

サービス事業売上高内訳

(単位：億円)	2022/3期	2023/3期	前期比	見通し (2/2発表)
水処理薬品事業	1,177	1,361	+ 185	1,360
水処理装置事業	1,353	1,518	+ 166	1,601
超純水供給事業	347	412	+ 65	408
国内精密洗浄	95	92	△ 3	96
海外精密洗浄	151	184	+ 33	217
土壌浄化	44	47	+ 3	55
国内メンテナンス	553	594	+ 41	623
海外メンテナンス	142	168	+ 26	176
その他	22	21	△ 0	25
合計	2,529	2,880	+ 350	2,961

- 水処理薬品事業、超純水供給事業、国内外メンテナンス、海外精密洗浄の伸長により、前期比で増収。
- 見通し比では、国内外精密洗浄事業、国内外メンテナンスが想定を下回る。

設備投資額・減価償却費・研究開発費

(単位：億円)	2022/3期	2023/3期	前期比	見通し (2/2発表)
設備投資額（有形*）	664	466	△ 198	537
水処理薬品事業	108	64	△ 45	-
水処理装置事業	556	403	△ 153	-
減価償却費（有形*）	201	258	+ 57	235
水処理薬品事業	42	47	+ 5	44
水処理装置事業	159	211	+ 52	191
研究開発費	54	63	+ 10	58
水処理薬品事業	15	18	+ 3	17
水処理装置事業	39	45	+ 7	42

* 使用権資産含む。

- 設備投資額は、新開発拠点関連の投資があった前期と比べると減少。
- 超純水供給事業向けの設備投資は前期を下回る。
- 減価償却費は、超純水供給事業における新たな水供給の開始、新開発拠点の稼働に伴い増加。
- 研究開発費は、新開発拠点の稼働に伴い増加。

財政状態

(単位：億円)	2022年3月末	2023年3月末	増減
現金及び現金同等物	457	505	+ 47
その他流動資産	1,327	1,459	+ 133
流動資産合計	1,784	1,964	+ 180
有形固定資産	1,610	1,787	+ 177
のれん	630	604	△ 26
その他非流動資産	676	660	△ 16
非流動資産合計	2,916	3,051	+ 135
資産合計	4,700	5,015	+ 316
流動負債	1,139	1,095	△ 45
非流動負債	782	963	+ 181
負債合計	1,921	2,058	+ 137
親会社の所有者に帰属する持分	2,719	2,940	+ 221
非支配持分	59	18	△ 42
資本合計	2,779	2,958	+ 179
負債及び資本合計	4,700	5,015	+ 316

- 有形固定資産は主に超純水供給事業用設備の取得により増加。
- のれんは、為替影響によるプラスがある一方で、クリタ・アメリカ社の水処理薬品事業に係るのれんの減損により減少。
- その他非流動資産の減少は、投資有価証券の一部売却が主因。
- 流動負債は、コマーシャル・ペーパーの発行や新規借入の実施により増加したものの、ペンタゴン・テクノロジー社に係るその他の金融負債等の減少により減少。
- 非流動負債は、社債発行と新規借入により増加。

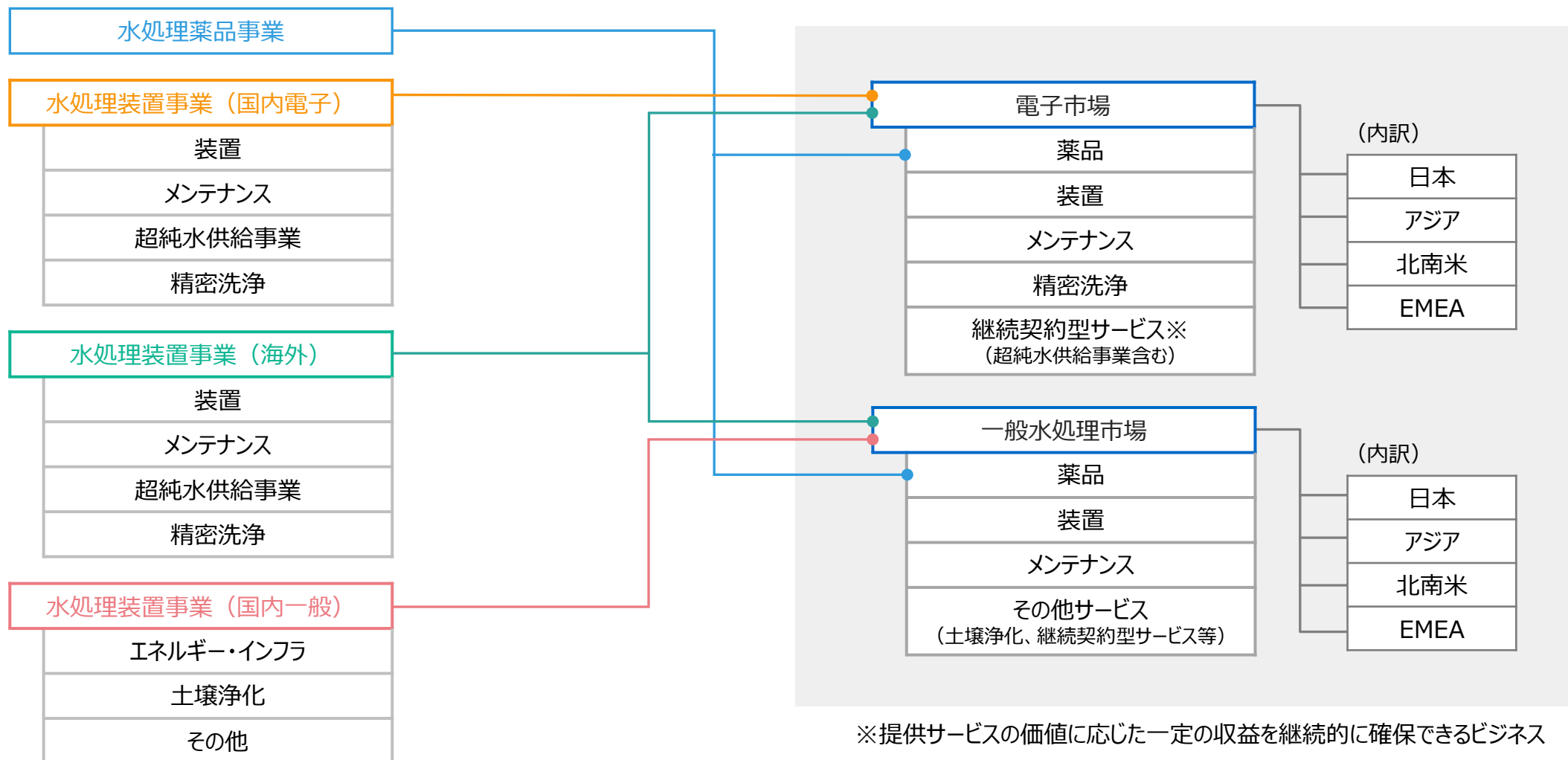
2 | 2024年3月期 業績予想

- 日本の経済は成長を維持し、デジタル化・脱炭素化など、中長期視点の投資が進む。
- 海外は、米国・ユーロ圏においてインフレーションの収束に目途がたつものの、経済成長は前期に比べて鈍化する。
- 半導体市場は生産調整の局面にあり、前期に比べてマイナス成長が見込まれるが、下半期より持ち直しの動き。

セグメント変更

～2023年3月期

2024年3月期～



業績予想の概要

(単位：億円)		2023/3期 実績	2024/3期 予想	前期比
受注高	高	3,743	3,500	△ 6.5%
売上高	高	3,446	3,750	+ 8.8%
事業利益	益	386	400	+ 3.7%
その他の収支		△ 95	△ 10	—
営業利益	益	291	390	+ 34.2%
税引前利益	益	302	382	+ 26.7%
親会社の所有者に帰属する当期利益	益	201	270	+ 34.1%
基本的1株当たり当期利益 (円)		179.14	240.21	+ 34.1%
為替レート	USD (円)	135.5	135.0	
	EUR (円)	141.0	138.5	
	CNY (円)	19.8	19.7	

- 受注高は前期に東アジアや日本で大型装置案件を獲得した反動により減少、売上高は装置案件の売上計上や薬品事業の伸長により増加となる見込み。
- 前期にクリタ・アメリカ社の水処理薬品事業に関するのれんの減損損失(△76億円)を計上したことから、営業利益以下の利益は大幅に増益となる見込み。

セグメント別業績予想

(単位：億円)		2023/3期 実績 (参考値)	2024/3期 予想	前期比
全社	受注高	3,743	3,500	△ 243
	売上高	3,446	3,750	+ 304
	事業利益	386	400	+ 14
	事業利益率	11.2%	10.7%	△ 0.5pp
	営業利益	291	390	+99
電子市場	受注高	1,699	1,400	△ 299
	売上高	1,493	1,625	+ 132
	事業利益	218	181	△ 37
	事業利益率	14.6%	11.1%	△ 3.4pp
	営業利益	209	181	△ 28
一般水処理市場	受注高	2,044	2,100	+ 56
	売上高	1,953	2,125	+ 172
	事業利益	169	219	+ 50
	事業利益率	8.7%	10.3%	+ 1.7pp
	営業利益	82	209	+ 127

□ 電子市場

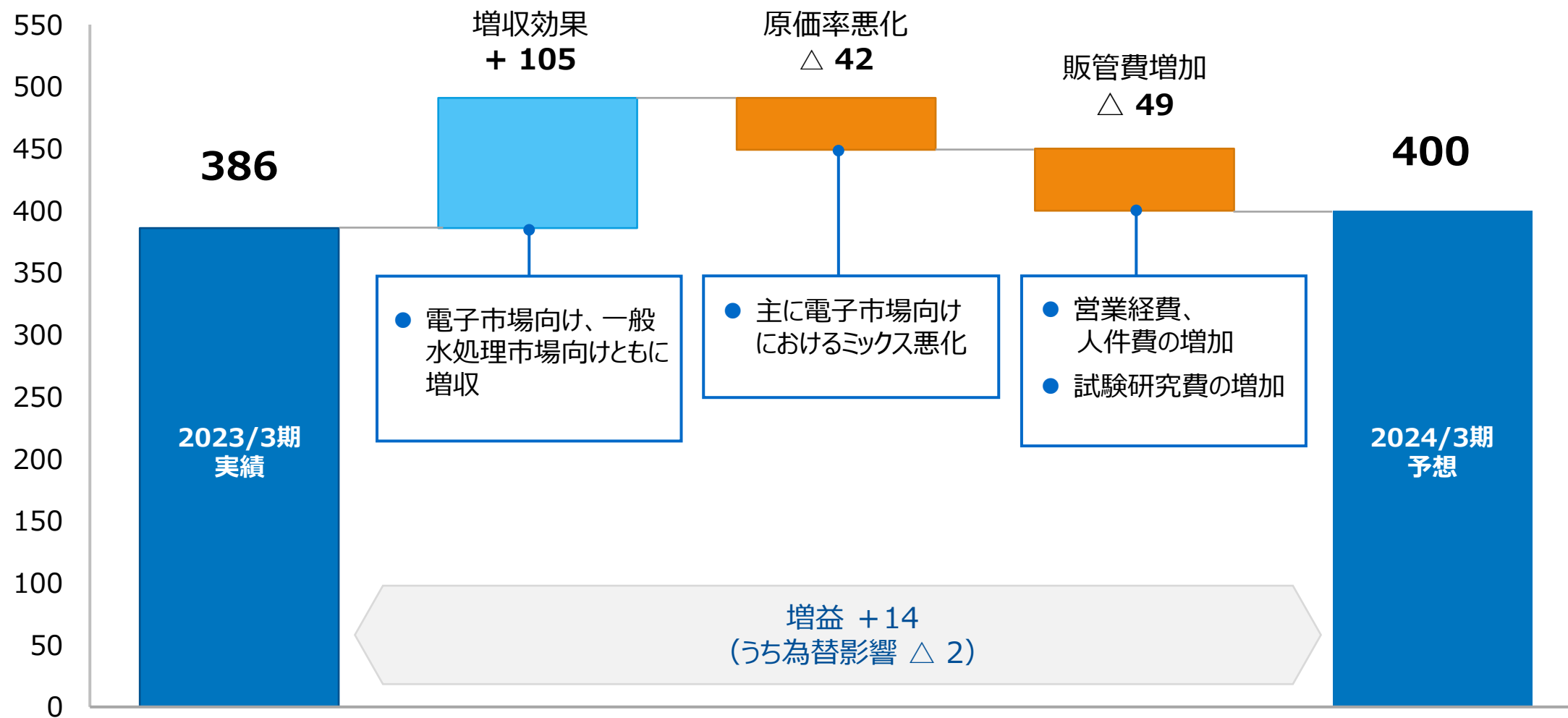
- 受注高は、前期に獲得した大型装置案件の反動で減少し、売上高は受注済み装置案件の工事進捗により増加となる見込み。
- 事業利益は、サービス事業の売上高構成比の減少等による原価率悪化と販管費増の影響が、増収効果を上回り減益となる見込み。

□ 一般水処理市場

- 受注高は、主に薬品事業の伸長により増加し、売上高は薬品事業の伸長に加えて、装置・メンテナンス案件の工事進捗により増収となる見込み。
- 事業利益は、増収効果と原価率改善効果が、販管費増の影響を上回り増益となる見込み。
- 営業利益は、前期にクリタ・アメリカ社の減損損失を計上したことから、大幅に増益となる見込み。

事業利益の増減要因（前期比）

(単位：億円)



電子市場向けセグメント

(単位：億円)		2023/3期 実績 (参考値)	2024/3期 予想	前期比
受注高		1,699	1,400	Δ 299
薬品		107	106	Δ 0
装置		686	382	Δ 304
メンテナンス		207	178	Δ 29
精密洗浄		277	270	Δ 6
継続契約型サービス		423	463	+ 40
売上高		1,493	1,625	+ 132
薬品		107	107	Δ 0
装置		501	601	+ 100
メンテナンス		188	182	Δ 6
精密洗浄		276	270	Δ 6
継続契約型サービス		421	466	+ 44

- 薬品は、受注高・売上高ともに前期並みの見込み。
- 装置は、前期に東アジアや国内で大型装置案件を獲得した反動で受注高が減少するが、売上高は受注済み案件の工事進捗により増加する見込み。
- メンテナンスは、前期に大型案件を中心に堅調だった反動で、受注高・売上高ともに減少する見込み。
- 精密洗浄は、顧客工場の稼働の影響を受け、受注高・売上高ともに減少する見込み。
- 継続契約型サービスは、主に前期に開始した超純水供給案件の寄与により受注高・売上高ともに伸長する見込み。

(単位：億円)		2023/3期 実績 (参考値)	2024/3期 予想	前期比
地域別売上高	日本	783	906	+ 123
	アジア	526	544	+ 18
	北南米	184	175	Δ 9
	EMEA	-	-	-
	合計	1,493	1,625	+ 132

増減要因（億円）

オーガニック増減	+ 138
為替影響	Δ 5

一般水処理市場向けセグメント

(単位：億円)		2023/3期 実績 (参考値)	2024/3期 予想	前期比
受注高		2,044	2,100	+ 56
薬品		1,201	1,246	+ 45
装置		264	259	△ 5
メンテナンス		435	422	△ 14
その他サービス		143	173	+ 29
売上高		1,953	2,125	+ 172
薬品		1,197	1,243	+ 46
装置		200	245	+ 44
メンテナンス		415	439	+ 24
その他サービス		140	198	+ 57

- 薬品は、国内での一部業種の需要回復や、海外での事業伸長により受注高・売上高ともに増加する計画。
- 装置は、受注高は前期並み。売上高は、主に受注済み案件の工事進捗により増加を見込む。
- メンテナンスは、前期に複数の大型案件を獲得した反動により受注高が減少するが、売上高は工事進捗により増加する計画。
- その他サービスは、継続契約型サービスが受注高・売上高ともに増加し、土壌浄化は工事進捗により増収を見込む。

(単位：億円)		2023/3期 実績 (参考値)	2024/3期 予想	前期比
地域別売上高	日本	967	1059	+ 93
	アジア	249	293	+ 43
	北南米	440	463	+ 22
	EMEA	297	310	+ 13
合計		1,953	2,125	+ 172

増減要因（億円）

オーガニック増減	+ 182
為替影響	△ 10

設備投資額・減価償却費・研究開発費

(単位：億円)	2023/3期 実績	2024/3期 予想	前期比
設備投資額（有形*）	466	357	△ 110
減価償却費（有形*）	258	273	+ 15
研究開発費	63	76	+ 12

* 使用権資産含む。

- 設備投資額は、超純水供給事業向けの投資が縮小することから、減少となる見込み。
- 減価償却費は、前期の超純水供給案件の開始に伴い増加を見込む。
- 研究開発費は、イノベーション創出に向けた取り組みの強化により増加を見込む。



将来見通しに関する注記事項

本資料に掲載されている見通し数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断したものであるため、リスクや不確実性を含んでおり、実際の業績はこれと異なる可能性があります。

本資料内で使用している製品・サービス名およびロゴは、当社または他社の商標または登録商標です。